

# 韓国語教育における日本語の文法について

—国語ではない外国語の観点から—

On the Japanese Grammar in the Education of Korean Language  
—In the respect not of a national language, but of a foreign language—

権 英 秀

KWON Young-Su

This study has considered not general grammatical characteristics having as Japanese first language, but interesting characteristics of Japanese grammar showing up as often as comparing two languages studying in Korean.

キーワード：日本語、韓国語、文法、語順の移動

## 1. はじめに

日本人韓国語学習者に対する韓国語の教育では、日本語の各文法<sup>1</sup>に対応する韓国語の文法を説明していることが多い。なぜなら日本語と韓国語の文法や語順が非常に類似しているからである。即ち、日本人韓国語学習者は日本語の文法や語順が理解できないと、意図した正確な韓国語を表現することができないとも言える。

日本人外国語学習者を対象に外国語の教育が行われる際、外国語の文法に対応する（国語<sup>2</sup>としてではない）日本語の文法に関して、著者が知っている限り、研究された先行研究はない<sup>3</sup>。その意味で本研究は日本人にとって国語である日本語の文法ではなく、①日本人の立場で外国語（ここでは韓国語）の学習から見える日本語、②外国人から見る日本語の特徴から、日本人が外国語を学習するために理解すべき日本語の文法について考察する意義があると考えられる。

また、本研究は韓国語の教育を行う際に比較する日本語の文法に関する研究であり、国語としての日本語から述べる研究と異なることを最初から断っておきたい。

## 2. 日本語の丁寧語（「です・ます」<sup>4</sup>）

### 2.1 「です・ます」の語順について

日本語で丁寧の意味を表す文法（以下：丁寧文法<sup>5</sup>）は「です・ます」である。丁寧に表現するという意味では両方とも似ているが、語順においては相違点がある。特に丁寧文法は当然ながら例1のように他の文法と組み合わせず、丁寧文法だけを動詞・形容詞の後に付ける場合は

同じ語順（動詞・形容詞＋丁寧文法）になる。しかし、他の文法（否定・過去）と丁寧文法が組み合わせになる場合は語順が異なってくる。

例 1)

①行きます = [動詞] + [丁寧]

②冷たいです = [形容詞] + [丁寧]

例 2<sup>6)</sup>

①行かれたくないです = [動詞] + [尊敬] + [希望] + [否定] + [丁寧]

②行かれたくありません = [動詞] + [尊敬] + [希望] + [丁寧] + [否定]

例 2 で①の語順は、「行く＋られる＋たい＋ない＋です」であり、②の場合は「行く＋られる＋たい＋（あり）ます＋ん」である。「です」と「ます」が否定の意味を表す文法（以下：否定文法）や過去の意味を表す文法（以下：過去文法）と組み合わせになると、例 1 のように通常最後に丁寧文法が来るものの、「ます」は他の文法の間に来ることになる。この点が韓国語の丁寧文法の語順にはない日本語の特徴である。韓国語にも丁寧文法が 2 種類（「습니다/입니다」と「아요/어요」）<sup>7)</sup>ある。「습니다/입니다」と「아요/어요」は両方とも同じ語順であるために、日本人韓国語学習者は丁寧文法において日本語と韓国語の語順を注意しなければならない。例 2 の日本語を韓国語に表すと以下のようなになる。

例 3) <sup>8)</sup>

・가시고 싶지 않습니다 = 가다 + 시다 + 고 싶다 + 지 않다 + 습니다  
[動詞] + [尊敬] + [希望] + [否定] + [丁寧]

・가시고 싶지 않아요 = 가다 + 시다 + 고 싶다 + 지 않다 + 아요  
[動詞] + [尊敬] + [希望] + [否定] + [丁寧]

例 3 は例 2 の日本語を韓国語に直したものである。韓国語の丁寧文法（「습니다/입니다」と「아요/어요」）は最後の語順に来るパターンしかなく、日本語と違って、否定文法が丁寧文法の後に来る語順はない。もし、例 2 の②のように日本語の語順どおりに韓国語を組み合わせると、「가시고 싶습니지 않다」という正しくない韓国語の表現になる。例 2 の日本語と同じく、丁寧文法が他の文法の間に来ると、最後の語順が否定文法（「지 않다」）で終わるため、結果的に正しくはないが、韓国語でタメ語<sup>9)</sup>の表現になってしまう。即ち、例 2 の②にある「ます」の丁寧文法が最後の語順ではないために、「ます」が含まれた日本語の表現は直接韓国語の丁寧表

現に直すことができなくなる。

したがって、丁寧文法（特に「ます」）のある日本語を韓国語に表現する時は、他の文法の語順は固定して丁寧文法だけを最後に移す工夫が必要である（権 2018a、以下：「語順の移動」）。また、丁寧文法を除いたすべての文法を組み合わせるから最後に韓国語の丁寧文法を付けなければならないことを日本人韓国語学習者は理解する必要がある。

表 1) 例 2 の②における語順の移動（否定文法＋丁寧文法）

日：行く＋られる＋たい＋	<span style="border: 1px solid black;">ます</span>	＋	<u>ん (=ない)</u>	=	行かたくあり	<span style="border: 1px solid black;">ません</span>
韓：가다＋시다＋고 싶다＋	<span style="border: 1px solid black;">입니다</span>	＋	<u>지 않다</u>	=	가시고 싶	<span style="border: 1px solid black;">습니</span> <u>지 않다</u> (×)
	「尊敬」		「希望」			
	↓		↓			
	「尊敬」		「希望」			
			語順の移動			
			↓			
			「否定」			<span style="border: 1px solid black;">丁寧</span>
日：行く＋られる＋たい＋		＋	<u>ない</u>	＋	<span style="border: 1px solid black;">です</span>	
						= 行かたく <u>ない</u> <span style="border: 1px solid black;">です</span>
韓：가다＋시다＋고 싶다＋		＋	<u>지 않다</u>	＋	<span style="border: 1px solid black;">습니다</span>	
						= 가시고 싶 <u>지 않</u> <span style="border: 1px solid black;">습니다</span> (○)
						= 가시고 싶 <u>지 않</u> <span style="border: 1px solid black;">어요</span> (○)

また、日本語で過去文法と丁寧文法が組み合わせになる場合も、上記のように丁寧文法の語順が異なってくるために、韓国語は丁寧文法が最後の語順に来ることを念頭に日本人韓国語学習者は語順の移動を考えなければならない。

表 2) 語順の移動（過去文法＋丁寧文法）

日：行く＋られる＋ことができる＋	<span style="border: 1px solid black;">ます</span>	＋	<u>た</u>	=	行かれることができ	<span style="border: 1px solid black;">ました</span>
韓：가다＋시다＋ㄹ 수가 있다＋	<span style="border: 1px solid black;">습니다</span>	＋	<u>었다</u>	=	가실 수가 있었	<span style="border: 1px solid black;">습니다</span> (×)
	「尊敬」		「可能」			
	↓		↓			
	「尊敬」		「可能」			
			語順の移動			
			↓			
			「過去」			<span style="border: 1px solid black;">丁寧</span>
日：行く＋られる＋ことができる＋		＋	<u>た</u>	＋	<span style="border: 1px solid black;">(の)です</span>	
						= 行かれることができた <span style="border: 1px solid black;">(の)です</span>
韓：가다＋시다＋ㄹ 수가 있다＋		＋	<u>었다</u>	＋	<span style="border: 1px solid black;">습니다</span>	
						= 가실 수가 있었 <span style="border: 1px solid black;">습니다</span> (○)
						= 가실 수가 있었 <span style="border: 1px solid black;">어요</span> (○)



例7の①では丁寧の意味を「です」で表しているが、②では丁寧文法である「ます」があり、また例6の②のように丁寧文法と過去文法を組み合わせた「でした」があって、通常の丁寧文法である「です」と「ます」が共に一つの文に含まれている。

一般的に二重尊敬表現が正しくないという文法ルールは多く知られている。また応用として二重丁寧表現も正しくないのではないかと疑問をもつ外国人も少なくない。しかし、現代の日本語において標準語の文法として二重丁寧表現は使われ、教育されている。

このような日本語の二重丁寧表現の存在について外国語を学ぶ日本人に教育をしないと、以下のような間違った表現(表3の②)を日本人韓国語学習者がしてしまう恐れがある。

表3) 語順の移動

①日: 行く + a <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ます</span> + ん + b <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">でした</span>	= <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行きません</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">でした</span>
②韓: 가다 + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">입니다</span> + 지 않다 + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">있습니</span> <div style="margin-left: 40px;">「丁寧」            「否定」            「過去+丁寧」</div> <div style="margin-left: 40px;">↓                    ↓                    ↓</div> <div style="margin-left: 40px;">「丁寧」            「否定」            「過去」</div> <div style="margin-left: 40px;">↓                    ↓                    ↓</div> <div style="margin-left: 40px;">「否定」            「過去」            「丁寧」</div> <p style="margin-left: 20px;">語順の移動</p>	= <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">갑니</span> 지 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">않았</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">습니</span> 다 (×)
③日: 行く +            + ない +            + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">です</span>	= <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行かなかった</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">です</span>
韓: 가다 +            + 지 않다 +            + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">습니</span> 다	= <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">가지</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">않았</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">습니</span> 다 (○)
	= <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">가지</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">않았</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">어요</span> (○)

表3の①では「a ます」と「b でした」に丁寧の意味を表す文法があるために、aとbの中でどちらか一つだけを丁寧文法として扱わなければならない。例7の②のように、「行きませんでした」は「行く」→「行きます」→「行きません」→「行きませんでした」の順で組み合わせになるために、「行きます」→「行きません」の順で丁寧文法が含まれる。また「行きません」は「行かないです」と同様、丁寧な意味が含まれていることから、表3の①で「b でした」は単に過去文法のみで解釈した方がよいと考える。つまり、「行きませんでした」の「でした」が「丁寧文法+過去文法」として解釈されたら、「でした」がない場合の「行きません」はタメ語の表現になってしまう。

### 3. 尊敬語（文法）について

#### 3.1 尊敬表現の使い方

日本語と韓国語において尊敬表現のために使う文法（以下：尊敬文法）には、意味による使い方と文法の活用法（組み合わせ方）において相違点がある。まず、意味による使い方について考察する。

例 8)

①日本語：

A（取引先の人）：社長はいらっしゃいますか。

B（社員）：今おりません。

②韓国語：

A（取引先の人）：사장님은 계십니까? （社長はいらっしゃいますか。）

B（社員）：지금 안 계세요. （今いらっしゃいません。）

日本語と韓国語の尊敬表現について、日本語の場合は話す人（話し手）と相手（聞き手）の関係<sup>10</sup>によって尊敬表現が決まるが、韓国語の方は話す人（話し手）と話題の人物（第3者）が基準になって尊敬表現が決まる（権、2018b）。例8の①で社員が取引先の人に話題（第3者）である社長のことを言う場合、社員自身より地位や年齢などが高い社長のことであっても、取引先の人に社長のことを尊敬表現では伝えていない。即ち、話題の人物よりは聞く相手（聞き手）を基準に尊敬表現を決めなければならないのである。これを相対尊敬表現と言う。しかし、韓国語では②のように聞き手である取引先の人とは関係なく、「社員」と「話題の社長」の関係を考慮して尊敬表現を決めている。したがって韓国語は相手が基準にならず「話し手」と「話題の人物」の間柄で決まる絶対尊敬表現を使用しているために社員は取引先の人に地位や年齢が高い社長のことを尊敬表現で伝えなければならない。

表 4) 日本語と韓国語の尊敬表現

相対尊敬	絶対尊敬
<p>①日本語</p> <p style="text-align: center;">話題の人物</p> <p>話し手 ←————→ 聞き手</p> <p style="text-align: center;">聞き手のことを考慮</p>	<p>②韓国語</p> <p style="text-align: center;">話題の人物</p> <p style="text-align: center;">話題の人物のことを考慮</p> <p>話し手 ←————→ 聞き手</p>

例9)

A (取引先の人) : 사장님은 계십니까? (社長はいらっしゃいますか。)

B (社員) : 지금 없습니다. (今おりません。)

もし、例9のように日本語と同様な言い方にした場合、社員が社長と「同い年か年下」、または社長の地位が社員と「同じか低い」ことを表す表現になってしまう。したがって、日本人韓国語学習者は日本語の尊敬表現の意味（相対尊敬）や、韓国語との相違点も理解しなければならない。

### 3.2 尊敬文法の語順

次は日本語と韓国語の尊敬文法における語順について考察する。

日本語の尊敬文法は他の文法より一番前の語順に来ており、動詞や形容詞との結束度が高いものである。しかし、韓国語では動詞や形容詞との結束度が低く、より自由に語順の活用ができる。

例10)

①日本語：

買う → 買われる → 買われたい → 買われたいです  
 [動詞] + [尊敬] + [希望] + [丁寧]

②韓国語：

a : 사다 → 사시다 → 사시고 싶다 → 사시고 싶어요  
 (買う 買われる 買われたい 買われたいです)  
 [動詞] + [尊敬] + [希望] + [丁寧]

b : 사다 → 사고 싶다 → 사고 싶으세요  
 (買う 買いたい 買いたい+られます ⇒ 買われたいです)  
 [動詞] + [希望] + [尊敬] + [丁寧]

例10の「①」と「②のa」で日韓両言語における尊敬文法は「買う」動詞のすぐ後に来る文法活用（語順）をしている。しかし、韓国語は「②のb」のように尊敬文法が他の文法の後に来ることもある。この点は韓国語において尊敬文法の表すスコープが日本語と違って、より広い範囲で尊敬の意味を付与することができるからである。

表 5) 日本語と韓国語の尊敬表現 (スコープ)

①買われたいです = [買う] + 尊敬文法

②-a 사시고 싶어요 = [사다 (買う)] + 尊敬文法  
= 「買う」行動を尊敬表現にする。

②-b 사고 싶으세요 = [사고 싶다 (買いたい)] + 尊敬文法  
= 「買いたい」気持ちを尊敬表現にする。

表 5 の②-b で韓国語の尊敬文法は相手の行動以外に気持ち・希望・願望に対しても尊敬表現にすることができる。日本語でも気持ちや希望のように形態や性質を表す形容詞に尊敬表現<sup>11)</sup>にすることはできるが、表 5 の①のように「買う」動詞の後に希望表現にする「たい」が付いた (= 動詞から形容詞に品詞が変わった) 場合は形容詞として「お・ご+形容詞」の活用はできず、動詞にしか尊敬文法を付けることができない。この特徴は日本語を学ぶ韓国人日本語学習者がよく誤用する部分でもある。「お・ご+形容詞」の付け方によって、「お+買いたい」の付け方をすることが初級の学習者から見られる。

韓国語の尊敬文法は形容詞にも動詞にも付けられるという日本語との共通点がある。しかし、スコープの活用が広いために、動詞から形容詞に品詞が変わった場合にも尊敬文法を付けることができるという特徴が韓国語にあることを、日本人韓国語学習者は学習する際に留意しなければならない。

#### 4. 「に」について

日本語の「に」は(「場所の基点を表す」、「時間を表す」、「到達点を表す」、「相手を表す」)<sup>12)</sup>、「目的を表す」など、さまざまな意味で使われる。ここでは目的を表す「に」について考察をする。

例 11)

- ・友達と映画を見に映画館に行きました。
- ・パソコンを買いに来ました。
- ・キムチ鍋を食べに店に行った。
- ・質問をしに電話をした。

日本語で「ある行動をする」ために、または「目的を達成する」ために、動詞(連用形)の後に「に」を付けて表現する。韓国語も同様に動詞の語幹に「러/으러 (に)」を付けて目的を



表す。

- ・友達と映画を見に映画館に行きました。 (見る=보다)  
=친구와 영화를 보러 극장에 갔습니다.
- ・パソコンを買いに来ました。 (買う=사다)  
=컴퓨터를 사러 왔습니다.
- ・キムチ鍋を食べに店に行った。 (食べる=먹다)  
=김치찌개를 먹으러 가게에 갔다
- ・質問をしに電話をした。 (する=하다)  
=질문을 하러 전화를 했다.

しかし、日本語では「名詞+に」の形式で目的を表す場合もある。

例 12)

- ・お母さんとデパートに買い物に行きました。

[名詞]

- ・運動に行きましようか。

[名詞]

- ・友達と韓国の旅行に行く話をしました。

[名詞]

- ・韓国語の勉強に韓国へ行きます。

[名詞]

例 12 の「買

詞を組み合わせても正しい日本語になる（「名詞+に」）。

しかし、例 12 をそのまま韓国語に表現することはできない。①まず「쇼핑（買い物）、운동（運動）、여행（旅行）、공부（勉強）」の韓国語の名詞は動作や行動を表す動作性名詞ではない。②そして目的を表す韓国語「러/으러」は必ず動詞の語幹に付く文法である。こうした理由によって韓国語で表すためには韓国語の名詞を動詞に変えた後に（①の解決法）、その動詞の後に「러/으러」を付けて（②の解決法）表現しなければならない。

例 13)

・お母さんとデパートに買い物に行きました。

어머니와 백화점에 쇼핑하러 갔습니다. (쇼핑하다+러=動詞+に：買い物しに)

・運動に行きましようか。

운동하러 갑시다. (운동하다+러=動詞+に：運動しに)

・友達と韓国の旅行に行った話をしました。

친구와 한국 여행하러 갔던 이야기를 했습니다. (여행하다+러=動詞+に：旅行しに)

・韓国語の勉強に韓国へ行きます。

한국어를 공부하러 한국에 갑니다. (공부하다+러=動詞+に：勉強しに)

上記のように日本語の動作性名詞は韓国語の名詞に「하다（する）または을/를 하다（をす）」<sup>13</sup>を入れて名詞を動詞化すれば正しい韓国語に直すことができる。

## 5. 「と」について

韓国語と比べて、日本語の特徴は一つの文法形態がさまざまな意味で包括かつ広範囲で使われることである。ここでは「と」を中心に考察してみる。

例 14)

①私と友達は大学生です。

②春になると暖かくなります。

③私は行かないと言いました。

④このお金はいずれ必要となります。

例 14 のように「と」という文法形態がさまざまな意味で使われていることが分かる。①の「と」

は名詞と名詞を羅列する助詞である。そして②の「と」は春になった場合暖かくなるという仮定・条件の意味で使われ、③の場合は第 3 者の言った言葉を引用する表現である。そして④の場合は「必要に」という副詞の役割をする。①～④の「と」は韓国語ではそれぞれの文法形態があって使い分けなければならない。

例 15)

①私と友達は大学生です。 (名詞と名詞：羅列)

⇒저와 친구는 대학생입니다.

②春になるとと暖かくなるでしょう。 (仮定、条件など)

⇒봄이 되면 따뜻해질 것입니다.

③私は行かないと言いました。 (引用)

⇒나는 안 간다고 했어요.

④このお金はといずれ必要となります。 (必要に：副詞)

⇒이 돈은 언젠가 필요하게 될 거야.

韓国語は日本語に比べて、各意味に対応する文法形態がそれぞれ存在するケースが多い<sup>14</sup>。しかし、日本語は一つの文法形態がさまざまな場面や意味で使われるために、日本人が韓国語を学習する際は文法の意味を把握してその意味に対応する韓国語の文法を使わなければならない。このような文法は「が、に、で、と、から、ない等」<sup>15</sup>でも見られる。

例 16)

・最近忙しくて彼女に会っていない。

例 16 における文の意味は 2 つに解釈することができる。1 つ目は「忙しいから彼女に会うことを (意図的に) しない」という意味であり、2 つ目は「忙しくて彼女に会いたくても会うことができない」という意味である。したがって韓国語に表現する際は日本語の否定文法「ない」が「単純否定の意味」か「可能否定の意味」かを考えて適切な韓国語の文法形態に対応させなければならない。

① (「忙しいから彼女に会うことを (意図的に) しない」の意味：単純否定形)

・최근에 바빠서 여자 친구를 안 만나고 있어.

②（「忙しくて彼女に会いたくても会うことができない」の意味：可能の否定形）

・ 최근에 바빠서 여자 친구를 만날 수가 없어.

また、日本語では一つの文法形態がさまざまな品詞（動詞、形容詞、形容動詞、名詞等）とも自由に組み合わせることができるという特徴がある。

例 17)

①明日 12時まで待ってください。

[名詞]

②明日私が行くまで待ってください。

[動詞]

「まで」は「に」と違って複数の意味を持っていない。そのために韓国語に表現する際は、「に」のように日本語の意味に対応する韓国語の文法形態を使い分ける必要はない。ただし、韓国語の「까지 (まで)」は必ず名詞の後にしか来ない文法であることを日本人学習者は注意しなければならない。韓国語ではいわゆる助詞 (は、が、を、と、も、に、で、から、まで、や、より等) は名詞としか組み合わせることができない。したがって、例 17 の②を韓国語に表現するためには「まで」の前の単語や表現を名詞化しなければならない。

例 18)

・明日私が行くまで待ってください。: 내일 제가 가다까지 기다리세요. (×)

(動詞+まで)

→明日私が行く時まで待ってください。: 내일 제가 갈 때까지 기다리세요. (○)

(動詞+名詞+まで)

日本語では助詞「まで」はさまざまな品詞との組み合わせ方に制約がないために動詞とも組み合わせることができるが、韓国語はさまざまな品詞との組み合わせ方に制約があつて、「まで」を表すためには「まで」の前の品詞（特に動詞の場合）を名詞にしなければならない。

例 18 の場合は「行くまで」は「行く時まで」という意味であるために「まで」の前に「時」という名詞を入れることによって、「まで」が名詞の後に来る制約に従って韓国語を書くことができる。このようにさまざまな品詞との組み合わせ方に制約がない日本語の文法には「が、と、

に、まで、でや、より等」がある。

## 6. 時制について

日本語の動詞は過去や完了を表す「た」と組み合わせない場合、それ自体が現在と未来の意味を共に持つ場合があり、「文脈」や「現在・未来を表す副詞」<sup>16</sup>などと一緒に「現在の時制」と「未来の時制」を区別しなければならない。しかし、韓国語の場合は「未来の時制」のために「ㄴ/을 것이다・겠다」の文法を持って表している。

例 19)

① 行く人は私の友達です。

a : 今行っている人

b : これから行く予定の人

②私はコーヒーを飲みます。

a : 今飲んでいる人、コーヒーが飲める人、毎日飲んでいる人など

b : これから飲む予定の人

例 19 の①の場合は「行く」の動詞だけで人を修飾しており、今行く人 (a) か、これから行く人 (b) かは分からない。この場合は「今」や「明日」などの時間を表す副詞によって、今行く人か、これから行く予定の人かが読み取れるようになるので、時制の意味が分かる副詞や表現を付け加えなければならない。したがって、例 19 の①を韓国語に表す場合、日本人韓国語学習者は名詞を修飾する動詞の連体形に日本語の動詞（過去文法がない場合）の時制を考えて韓国語の連体形を使い分けなければならない。

例 19 の②も同様に「飲みます」が a のように「今飲んでいる人」、「コーヒーが飲める人」、「毎日飲んでいる人」などの意味か、b のように「これから飲む予定の人」という意味かによって韓国語の場合は文法形態が異なってくる。「未来の時制」を表すためには韓国語では英語<sup>17</sup>のように未来の意味を表す「ㄴ/을 것이다・겠다」を持って表現しないと、現在の行動を表す意味になる恐れがある。したがって日本人韓国語学習者はこれから行う行為に関しては「未来の時制」を表す文法を使わなければならない。

例 20)

① (今) 行く人は私の友達です。

⇒ (지금) 가는 사람은 제 친구입니다.

↳ [가다] + [는 (現在を表す連体形)]

② (明日) 行く人<sup>人</sup>は私の友達です。

⇒ (내일) 갈 사람<sup>사람</sup>은 제 친구입니다

↳ [가다] + [ㄷ (未来を表す連体形)]

韓国語では名詞を修飾する動詞の連体形は「過去・現在・未来」の文法形態<sup>18</sup>がある。したがって日本人が「行く人」を韓国語に表現するためには「行く」行為が現在の意味か、未来の意味かを考えて、例20の①のように今行く場合（行為が行われている）は「는」を使い、②のように明日行く場合（行為がまだ行われていない）は「ㄷ/을」を使わなければならない。

例21)

①毎日私はコーヒーを飲み<sup>ます</sup>ます。

⇒ 매일 저는 커피를 마<sup>십니다</sup>십니다.

↳ [마시다] + [ㅂ니다 (現在の時制や習慣などを表す)]

②後で私はコーヒーを飲み<sup>ます</sup>ます。

⇒ 나중에 저는 커피를 마<sup>실 겁니다</sup>실 겁니다

↳ [마시다] + [ㄷ 겁니다 (未来の時制を表す)]

例21の「飲みます」は、①のように「毎日習慣的に飲む」という意味、②のように「これから飲む」という意味を表している。したがって、①では「未来の時制」を使わず②では「未来の時制」を使って、それぞれの時制を表さなければならない。

## 7. まとめ

本研究は国語としての日本語の文法に関する特徴ではなく、韓国語を学習する際に韓国語との比較から見える日本語の文法に関する特徴を考察してきた。日本語を専門に勉強していない（一般の）日本人は日本語の文法を韓国人日本語学習者のように体系的に習ったり、活用したりせずに自然に日常生活の中で日本語を覚えている。しかし、現在韓国語の教育では日本語の文法に対応する韓国語の文法に関する説明が行われているために、たとえ韓国語の文法を多く、詳しく理解していても、日本語の文法を理解していない限り、韓国語の文法活用は簡単ではないと考える。

そのために韓国語を学習する際は日本語の特徴（①韓国語と比較して見える日本語の特徴（例：韓国人から見る日本語、韓国人が学ぶ日本語）、②諸言語の中で日本語ならではの特徴（＝日本人が韓国語を学ぶ時の（国語としてではない）日本語）を日本人韓国語学習者に教えな

ればならない。

本研究で考察した日本語の特徴は以下のようになる。

(これらの日本語の特徴は韓国語を表現する上で注意すべき点でもある。)

①日本語の丁寧文法(「です」と「ます」)は、「否定文法」、「過去文法」などと組み合わせる場合は語順が異なる。

⇒韓国語の丁寧文法は最後の語順に位置し、他の文法と組み合わせる時も同様である。

特に韓国語に直す場合、「ます」の語順は「語順の移動」が必要である。

②日本語の尊敬文法は、話し手と相手(聞き手)が基準になって使われる相対尊敬表現であり、必ず動詞の後に来る。

⇒韓国語の尊敬文法は、話し手が基準になる絶対尊敬表現であり、動詞のすぐ後にも付けるし他の文法の後に付けることもできる。

③日本語で目的を表す「に」は通常動詞(の連用形)の後に付けるが、動作性名詞の後に付けることもできる。

⇒韓国語の「러/으러(に)」は必ず動詞の後に付き、韓国語に動作性名詞がないために日本語の動作性名詞には「하다(する)」<sup>19</sup>を付けて動詞化しなければならない。

④日本語は韓国語に比べて一つの文法形態がさまざまな意味を表す場合が多い

⇒日本語の各意味に対応する韓国語の文法形態がある場合は、日本語の文法の意味に応じて韓国語の文法形態を使い分けなければならない。

⑤日本語は一つの文法形態にさまざまな品詞(「動詞・形容詞・形容動詞・名詞」と組み合わせることができる。

⇒韓国語の各文法は組み合わせられる品詞が決まっているものが多いために、「文法」と「文法の前に来る品詞」との結束関係を理解しなければならない。

⑥日本語の動詞に過去や完了の意味を表す「た(過去文法)」を付けない場合は、現在と未来の時制を表すことができる。

⇒韓国語は「ㄹ/을 것이다・겠다」や「ㄹ/을」などの文法形態を持って「未来の時制」を表さない場合は「現在の時制や習慣」などを意味する。

以上、今回の研究では6つの日本語の特徴を考察してきたが、今後は韓国語と比べた日本語

における表現の特徴について考察し、また韓国語の教育に活用できる教授法も研究していきたい。

## 注

- <sup>1</sup> 「文法」という定義は捉え方によって異なる。本研究では主に「名詞と動詞・形容詞」の意味を深めるために使われる補助的なものとする。したがって「語順」も広い意味で文法であるが、ここでは文法の並べ方として扱う。そして文法を表す文字を「文法の形」または「文法形態」とする。
- <sup>2</sup> 本研究において「国語」と言う意味は、外国語との比較をするために、日本人が小学校から高校までに日本の学校で受けた日本語の学校教育とする。
- <sup>3</sup> 日本語と外国語の比較研究はあるが、主に外国人を対象に日本語を教育する際の日本語の文法である。本研究は日本人が外国語を学習する際の日本語の文法の特徴に焦点をあてる。
- <sup>4</sup> ここでは語順に焦点をあてて、「です」と「ます」の相違点については取り上げない。
- <sup>5</sup> 本研究では〇〇の意味を表す文法を「〇〇文法」と表記する。
- <sup>6</sup> 例2の例文において「られる」+「たい」は、話し手が自分の行動について尊敬表現にするように見える。しかし、日・韓両言語では当然ながら自分のことについて尊敬表現はしない。ここでは「丁寧文法」の位置（最後の語順に来る場合（デス文法）」と「最後に来ない場合（マス文法）」を区別しやすくするために「(先生は〇〇に) 行かれましたか」と「(先生は〇〇に) 行けませんか」の疑問詞を除いて例にした。例10も同様に「(何を) 買われたいですか」の疑問詞を除いて例にした。
- <sup>7</sup> 名詞の場合は「입니다」、「예요/이에요」を付ける。
- <sup>8</sup> 本研究における韓国語の例は日本人韓国語学習者の作文例を引用したものである。
- <sup>9</sup> 丁寧表現というのは失礼にならない言い方である。そのために通常は年上の人を使う。反面タメ語を使った表現は通常友達同士や年下を使うために、年上の人には通常使わない。ただし、信組関係や地位、ウチ・ソトの度合いによってはタメ語の表現を使うこともある。また「タメ語」という用語についてもさまざまな議論があるが、ここでは丁寧表現の反対意味として扱いたい。
- <sup>10</sup> 時には状況や場面に応じて使い分けられる。
- <sup>11</sup> 例) お忙しい、ご立派な など
- <sup>12</sup> 「場所の基点を表す」:(例) 私は学校にいる。、「時間を表す」:(例) 12時に学校で会う。、「到達点を表す」:(例) 来週東京に行く。、「相手を表す」:(例) 先生に質問をする。
- <sup>13</sup> 場合によって、「する」の代わりに他の動詞を入れることもある。  
例) スキーに行く: 스키 타러 가다 (스키 타다+러)
- <sup>14</sup> 反対に韓国語で一つの文法形態がさまざまな意味を持つ場合もある。しかし、そのような文法は日本語より少ない。
- <sup>15</sup> が: 主題、逆接、に: 4を参照、で: 手段、場所、と: 5を参照、から: 場所、時間、ない: 例16を参照
- <sup>16</sup> 「名詞・動詞・形容詞・形容動詞」+「が、と、に、まで、でや、より」
- <sup>17</sup> 助動詞である will や be going to など
- <sup>18</sup> 動詞の過去形: ①ㄴ/은、②던、③았던/었던、動詞の現在形: ㄴ、動詞の未来形: ㄹ/을
- <sup>19</sup> 注13を参照されたい。

## 参考文献

- 梅田博之 (1985) 「韓国人に対する日本語教育と日本人に対する韓国語教育」『日本語教育』第55号 日本語教育学会。
- 権 英秀 (2017) 「日韓両言語の否定形について—日本人大学生の作文から—」『言語の普遍性と個別性』第8号 新潟大学 pp. 41-55.



- 
- (2018a) 「韓国語の統語的アプローチ」『言語文化研究』第 22 号、新潟大学 pp. 11-24.
- (2018b) 「韓国語教育の問題点と提案—テキストと授業について—」『ことばとくらし』第 30 号  
新潟県ことばの会 pp. 左 30-43.
- 佐藤 佑 (2012) 「『太陽コーパス』にみる、動作性名詞「報告」の使用実態」『第 2 回コーパス日本語学  
ワークショップ予稿集』 pp. 77-86.
- 丹原邦博 (2010) 「日本語와 朝鮮語의 時制와 相」『関西大学外国語教育フォーラム』関西大学 第 9 号  
pp. 67-78.
- 고영근·구분관 (2014) 『우리말 문법론』 집문당.
- 남기심·고영근 (2014) 『표준국어문법론』 박이정.
- 이 숙화 (1997) 「제 1 문화 인지법이 제 2 언어 학습에 주는 효력」『이중언어학회지』 제 14 호  
이중언어학회 pp. 113-154.
- 조 항록 (2010) 「국제어로서의 한국어의 실재와 과제」『외국어로서의 한국어교육』 35 권  
연세대학교 언어연구교육원 한국어학당 pp. 129-155.

## 辞典

- 『現代言語学辞典』(1988) 田中春美他(編) 成美堂.  
『朝鮮語大辞典』(1985) 大阪外国語大学朝鮮語研究室(編) 角川書店.  
『日本語教育辞典』(1983) 日本語教育学会編 大修館書店.

## テキスト

- 『改訂版韓国語レッスン初級 I』(2003) 金東漢・張銀英(著) スリーエーネットワーク.  
『韓国語講座 1』(2009) 金東順(著) 白帝社.  
『韓国語の文法バイブル』(2015) 権英秀(著).  
『韓国語の文法講義ノート上・下』(2015) 権英秀(著).  
『基礎から学ぶ韓国語講座初級』(2005) 木内 明(著) 国書刊行会.  
『新好きやねんハングル I』(2009) 高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク西ブロック編集チーム(著)  
白帝社.  
『総合韓国語 1』(2001) 油谷幸利・南相璵(著) 白帝社.  
『朝鮮語を学ぼう』(2003) 朝鮮語学研究会(著) 三修社.  
『日本人のためのはじめての韓国語』(2008) 玄充鍋(著) 白帝社.  
『ミニマム韓国語』(2006) 高秀賢(著) 国書刊行会.  
『みんなの韓国語 1』(2009) 吉本一・中島仁・石賢敬・曹喜徹(著) 白帝社.  
『やさしく学べる韓国語初級』(2009) 金三順・北村唯司(著) 白帝社.  
『아름다운 한국어 1-3』(2005) 안성희(著) 한국어교육개발연구원.